

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第4回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

今回は、前回の三者協議の内容を振り返った上で、地域住民が主体となった利用促進の取り組みを行うために、他地域の事例を参考に取り組みの案を話し合いました。
次回の三者協議では、具体的にこれから試行していく取り組みを決めていきます。「こんな取り組みがしたい」などのアイデアをお持ちの方、取り組むことができる方は、是非ご参加ください。

【開催概要】

日時:令和5年7月6日(木)18:40~21:00
場所:あすか野自治会館
参加者:34名
(あすか野26名、白庭台3名、北田原町2名、辻町2名、西白庭台3丁目1名)

プログラム
①前回の振り返りと今後の進め方
②事例紹介
③意見交換



1. 前回の振り返りと今後の進め方

前回の三者協議で話し合われた内容を、最初に振り返りました。

※1 生駒市地域公共交通活性化協議会

詳細はHP(<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000001239.html>)

前回協議での意見	三者協議と活性化協議会※1との役割分担
<p>○実態やニーズを踏まえた路線改善の可能性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような時に誰が使っているのかを把握することが必要。 ・あすかのセンターから白庭台駅の利用が少ない。鉄道との接続が良くないことも一因であると考えられる。 	<p>(三者協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の路線のあり方を住民と協働で話し合う。 <p>(活性化協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者中心に運行形態の見直し案の検討を進める。
<p>○行政の補助の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすか野団地口は公共交通の空白地となる。 ・バス事業者単体で採算をとるのは難しい。公共交通があることで人口が増加し税収が増えるなど、多角的な評価と予算配分が必要。 	<p>(活性化協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市的に議論を進める。
<p>○利用促進の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会でバス回数券を販売する。 ・長期的に若者(通勤・通学利用者)を呼び込む。など 	<p>(三者協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で出来る利用促進策を検討する。 <p>(活性化協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体の取り組みや長期的な取り組みを検討する。

その後、生駒市から分科会の設置、今後の進め方について説明を行いました。

- ・三者協議で集約された地元の意見・利用促進策を踏まえ、路線ごとの検討を深く行うために、三者協議と活性化協議会の間新たに分科会を設置することになりました。
- ・交通事業者へ燃料・物価高騰の支援を行うことで、**路線再編までの猶予期間をさらに1年間延長し、令和7年3月まで**とすることが出来ました。
- ・今後の予定として、令和5年12月を目途に今後の進め方について方向性を定めていきます。そのため、利用促進の取り組みの試行と振り返りを繰り返していきます。

R5

開催時期	協議内容	今後の進め方
5月	第3回三者協議	3者の立場の理解 今後想定されるシナリオの共有
7月	第4回三者協議	利用促進 取り組みの検討
8月	第5回三者協議	利用促進 取り組みの検討
		取り組みの試行
10月	第6回三者協議	試行の状況報告・共有、中間検証 今後の取り組み方についての検討 取り組みの改善検討
12月	第7回三者協議	今後の進め方について意見交換 試行の継続 or 方向の転換
		取り組みの試行

R6

時期	内容
	取り組みの試行
10月頃	対応策(素案)の最終決定
12月頃	対応策の最終決定

R7

4月 新たな運行

※会議の進行状況を踏まえて、会議資料を一部修正

2. 事例紹介

本地域に効果の大きい取組みを創るため、参考となる他都市の事例を紹介しました。地域住民が主体となった先進事例を学んだうえで話し合いを進めました。

(紹介した事例)

- ・自治会を通じて住民にチケットの購入を依頼(長野県上田市)
- ・地元商店街組合等による買物客への乗車券進呈(富山県高岡市)
- ・協議会による市民サポーターの組織化(栃木県佐野市)
- ・コミュニティバス鹿ノ台線の買物補助券の配布(生駒市) など



コミュニティバス鹿ノ台線の買物補助券の配布

3. 意見交換

事例紹介を参考にしながら、地域住民で取り組める利用促進策を考えるため、班に分かれて意見交換を行いました。どういった人を対象にするのか取組みのターゲットを明確にして、地域で取り組むこと、行政・事業者と協力をお願いすることを話し合いました。

【話し合いで出された取組み(抜粋)】

周知を図る取組み

【ポスター等の掲出】

- ・地区内にポスターや回覧板で現状を周知し、利用を促す。
- ・あすか野地区以外の方にも、あすか野地区が困っていることを知らせる。

メリット付与の取組み

【商業事業者との連携】

- ・バス利用者には、「さきめしいこま」「いこまバル」のチケットがお得になるようにする。
- ・スタンプカードを作り、奈良北高校に配布する。商店のスペースを借りて、スタンプが貯まった生徒にアイスを渡す。

【公共施設との連携】

- ・市役所、図書館などの行政施設を利用する場合には、バス利用者にお得になるクーポンを配布する。

機会創出の取組み

【イベント等の実施】

- ・自治会館で行うカラオケイベントや麻雀大会などの地域のイベントに、あすか野地区外の人も来てもらう。
- ・飲食店とコラボして、飲み会のイベントを実施する。

【外出するきっかけの提供】

- ・生駒の商店のイベントやお買い得商品などの情報を流し、外出しやすくするようにする。

現状把握の取組み

【アンケートの実施】

- ・あすか野保育園等で、アンケートを実施し、どんなバスだったら利用しやすいか、交通事業者に伝える。

運行経費の負担の取組み

【サポーター制度の設立】

- ・住民がサポーターになる。(クラウドファンディングなど応援する路線別に応募できる仕掛け、ふるさと納税?)
- ・市全体公共交通基金を募る。

【自治会等でチケットの購入】

- ・文化祭・夏祭りの景品で、バス回数券を配る
- ・自治会活動で積極的に貸切バスを利用する。

その他の取組み

- ・白庭病院が運行するバスを統合する。
- ・バス運賃が高くなってでも乗る。
- ・ノーマイカーデーを実施し、その日は運賃を安くする。
- ・駐輪場よりもバス運賃を安くする。

4. 今後に向けて

今回の話し合いで出された取組み案の中から自分で取り組む案を選び議論を深めながら、実際に試行していきます。その状況をみながら、今後の進め方を検討していきます。



ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第5回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

今回は、過去4回の三者協議とあすか野地域公共交通検討委員会(以下、あすか野特別委員会)から提案いただいた利用促進の取り組みの中から、実際に取り組むものを選択し、グループに分かれて実現に向け具体的に話し合いました。

【開催概要】

日時: 令和5年8月10日(木)18:40~20:30

場所: 白庭台中央集会所

参加者: 14名

(あすか野6名、白庭台3名、西白庭台一丁目1名、あすか台1名、ひかりが丘1名、辻町1名、北田原町1名)

プログラム

- ①前回の振り返りと今回の進め方
- ②取り組みを考えるワーク



1. 前回の振り返りと今回の進め方

前回の三者協議で話し合われた内容を、最初に振り返りました。その後、今回の進め方について説明を行いました。

- ・前回までの三者協議会で出された案やあすか野特別委員会にご提案いただいた案を、テーマごとに下記6つにグループ分けしました。
- ・今回は、この6つのグループの中で関心のあるテーマに分かれて、実際に取り組みを進められるように具体的に話し合いを進めました。

【今までに提案された取り組み案一覧】

グループ	内容
1. 周知	利用促進のための広報活動
	利用促進運動の実施
	バス停時刻表の全戸配布
	バス利用の特典がある店舗の案内マップを作成
	市や奈良交通による施策を自治会で広報する
2. 現状把握	あすか野保育園の保護者らにむけた利用ニーズ調査・利用促進
	全路線の利用者ニーズを調査
	公共交通問題に取り組む特別委員会を設置
3. メリット付与	スタンプカードを活用した高校生の利用促進
	日常的な買い物に対する、バス利用者への特典付与
4. 機会創出	ベルテラスのイベントと連携した利用促進
	夏祭りの景品に回数券を復活
	文化祭等の自治会行事での貸し切りバス利用の復活
	麻雀イベントによる集客・利用促進
	商店街と連携したイベント開催
5. 運行経費負担	イベントによる需要創出
	バス回数券などの配布
	サポーター制度の設立支援
	夏休みの利用促進

グループ	内容
6. その他	沿線商店・飲食店・企業にバス車内広告出稿やバス停ネーミングライツの呼びかけ。
	生駒駅市営駐車場の値上げ
	生駒市内フリー切符等の企画券を奈良交通が作成し、生駒市ふるさと納税限定返礼品に。
	市役所、図書館などの公共施設を利用する場合に、バス利用者にクーポンを配布する
	回数券の販売所を増やす
	専らバス便のみの市施設でのイベントはバス時刻を意識して開催時間を設定。
	自転車で駅まで通う利用者へむけた運賃の差額補助の取り組み
	通勤・通学者の利用促進
	白庭病院の独自バスの統合に向けたはたらきかけ
	住宅地とスーパーマーケット間の運行に向けた取り組み
	ノーマイカーデーの設定による利用促進
	小中学校で生駒市の公共交通を考える出前授業の実施や公共交通利用促進パンフレットの配布。
	ボランティアへの謝礼としての回数券の配布
	小明寺垣内バス停への駐車場の設置・図書館駐輪場のバス利用者への開放。
	バス停付近の駐輪場整備

2. 取り組みを考えるワーク

参加者の関心が高かった「周知+機会創出」、「運行経費負担」の取り組みについて2つのグループに分かれ、意見交換を行いました。どのような人を対象にするのかターゲットを明確にして、目的、方法、期待する効果、行政・事業者に協力をお願いすることを話し合い、取り組みを具体化していきました。

周知+機会創出

【企画名】

- ・バスにのろう！ポスターコンクール

【企画概要】

- ・バス利用を促進するためのポスターコンクールを開催
- ・対象者は市内の小中学生
- ・冬休みの課題として市内全小学校で採用してもらうことを目指す

【取組の手順・役割分担】

- ①教育委員会に依頼するための企画チラシづくり
 - ・グループメンバーが案を作成、それをもとにグループ全員で内容について話し合う
- ②教育委員会・学校に依頼
 - ・企画チラシを持って生駒市から教育委員会を通じて各学校に依頼
- ③審査方法の確定
 - ・グループメンバーで数点まで絞り込み、市役所などで市民に投票してもらう
- ④審査会の開催
 - ・最優秀賞1名、優秀賞2名、自治会賞数名などを想定
 - ・賞品は今後グループメンバーで検討(オリジナルデザイン CI-CA(シーカ)など)
- ⑤応募作品の掲示
 - ・掲示場所をグループで検討
 - ・できればすべての絵を掲示できるとよい
 - ・市役所などの他、店舗などにも協力を求めたい

【取組体制】

- ・グループメンバー全員

【取り組み目標】

- ・できるだけ多くの子どものために描いてもらう

【今後の予定】

- ・9月14日(木)18時40分に再度集まり、実施に向けた検討を進める



運行経費負担

【企画名】

- ・サポーター制度の導入

【企画概要】

- ・路線の存続を希望する地域住民から運行サポーター募り、寄付を募る
- ・寄付の一部を赤字補填や新規需要の開拓の取り組みに充当する
- ・運行サポーターを募るためのインセンティブ(買い物補助券など)の検討を行う

【取組の手順】

- ①協力店舗の発掘
 - ・鹿ノ台の取り組みを参考に、近隣スーパー(いそかわ・ハーバス)に協力依頼を行う
- ②協力依頼の資料作成
 - ・協力依頼のための資料を作成する
(あすかの地区の現状・課題や、あすか野地区、ひかりが丘地区でのニーズなど)
- ③共通定期券の検討
 - ・自治会で定期券を購入し、サポーターであればだれでも使える仕組みの検討を行う
- ④会員カードの検討
 - ・サポーターであることを証明する会員カードを作成し、さまざまなメリットが享受できる仕組みの検討を行う

【今後の予定・取組体制】

- ・あすか野特別委員会終了後に集まり、取り組みを検討する
- ・LINE グループを作成し適宜情報共有を行う



参加者・協力者等を募集しています

バス路線を維持するためには、今回お集まりいただいた方に加え、地域が一丸となって取り組みを進めることが必要です。上記の取り組みに興味のある方、「こんなお手伝いならできる」という方、「他にこんな取り組みをしてみたい」などの思いのある方は下記にご連絡ください。

連絡先:生駒市 建設部 事業計画課

TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HP はこちら→



令和5年10月1日

バス利用者を増やす取組みの協力者募集について

〇〇自治会

北田原線のきびしい現状

奈良交通の路線バス「北田原線」は利用者の減少が続き、現状のままの運行の継続は難しいと、市に対して減便の申し入れがされました。市から奈良交通へ燃料高騰などに対する支援を行い、令和7年3月まで減便しないことが決まっていますが、北田原線を今の形で残していくためには、**今まで以上にみなさんのバス利用が必要です。**



協力者 募集

利用者を増やす取組みに協力いただける方を募集します

今あるバスを今後も残していくためには、バスに乗るきっかけを作り、通勤・通学・通院・買物など、普段の移動にバスを利用する人を少しでも増やす働きかけが必要です。

近所の方と話しをする際、地域の集まりの際に「バスを利用しよう！」と呼びかけるだけでも利用促進になります。そうした取組みに参加できる方、積極的な参加は難しくても、「こんなお手伝いならできる」という方は、下記までご連絡をお待ちしています！

【連絡先】

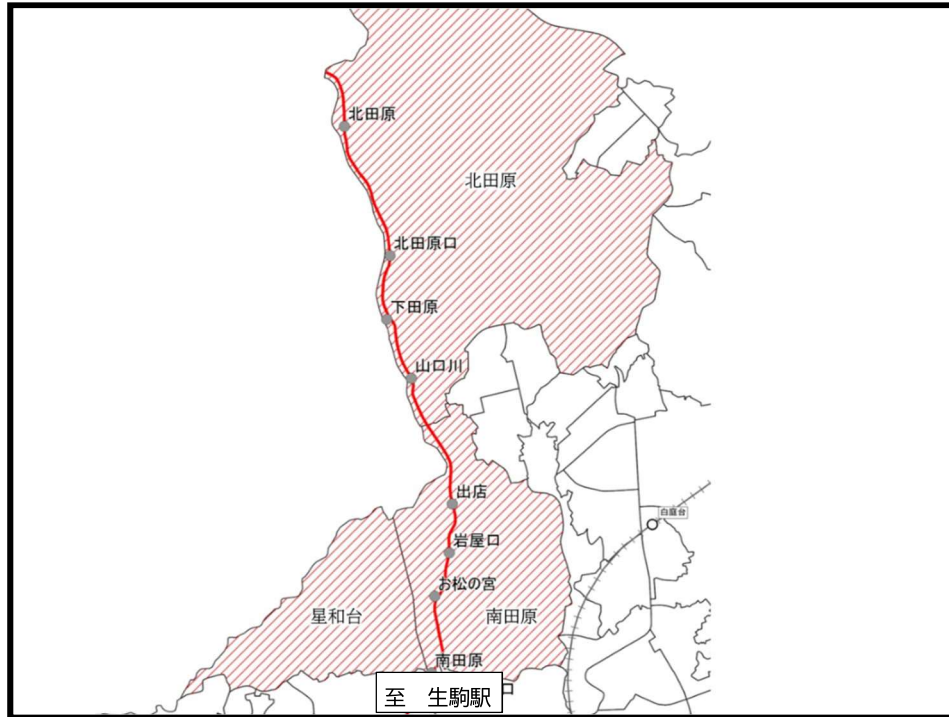
〇〇自治会

〇〇 〇〇

TEL 0743-〇〇-〇〇〇〇

減便案については裏面をご覧ください

○提示されている減便案の内容



生駒駅 行き

時間帯	便数		
	現状	減便後	増減
5時台	1	1	変更なし
6時台	2	1	△ 1
7時台	3	1	△ 2
8時台	2	1	△ 1
9時台	1	1	変更なし
10時台	1	1	
11時台	1	1	
12時台	1	1	
13時台	1	1	
14時台	1	1	
15時台	1	1	
16時台	1	1	
17時台	1	1	
18時台	2	1	△ 1
19時台	2	1	△ 1
20時台	2	1	△ 1
21時台	1	0	△ 1

北田原 行き

時間帯	便数		
	現状	減便後	増減
5時台	0	0	変更なし
6時台	1	1	
7時台	2	1	△ 1
8時台	1	1	変更なし
9時台	1	1	
10時台	1	1	
11時台	1	1	
12時台	1	1	
13時台	2	1	△ 1
14時台	1	1	変更なし
15時台	1	1	
16時台	0	0	
17時台	2	1	△ 1
18時台	2	1	△ 1
19時台	3	2	△ 1
20時台	1	0	△ 1
21時台	2	2	変更なし

日中の時間帯（9時～16時）は、ほとんど減便しません。

高の原高山線・学園前相楽線 路線図

